



Lines of sight
～それぞれのアジアへの視線～

海外フィールドワーク引率ブログ2009 > 2009年09月アーカイブ



引率 Staff
無藤 裕
佐藤 洋平

● 最近のエントリー

- ☞ Day 183, ETA 11:15, Osaka, Japan (2009.09.18)
- ☞ Day 182, Return to Osaka from Busan, South Korea (2009.09.17)
- ☞ Day 181, Remission, Busan, South Korea (2009.09.16)
- ☞ Day 180, Way to Busan, via Kiyosuwa, Shin-osaka, from Tokyo (2009.09.15)

● アーカイブ

- ☞ 2009年09月
- ☞ 2009年08月
- ☞ 2009年07月
- ☞ 2009年06月
- ☞ 2009年05月
- ☞ 2009年04月
- ☞ 2009年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリ一覧

● ブックマーク

〒108-8501 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



09.09.18

Day 183, ETA 11:15, Osaka, Japan

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ使用です。

海外フィールドワーク最後の夜も明け、パンスタードリームは瀬戸内海を東進、大阪港を目指しています。
明石海峡大橋をくぐれば大阪港ももうすぐ。

[明石海峡大橋をくぐる.jpg](#)

釜山出港時、1時間40分遅れで到着がどれだけ遅れるか心配でしたが、もともとの到着予定の朝10時に船内アナウンスで「到着は11時15分」の案内が、少しだけ遅れを取り戻したようです。

そして大阪港が近づいてきました。

[大阪港が見える1.jpg](#)

[大阪港が見える2.jpg](#)

[大阪港が見える3.jpg](#)

[大阪港が見える4.jpg](#)



出迎えの学校スタッフがゴールの横断幕を持ってターミナルの送迎デッキで待っているのが見えます。1時間15分遅れでもそれほど待たないで済みます。
【なぜ大阪港国際ターミナル内にはドリンクの自販機くらいしかありませんから】



学生たちは下船のため船内ロビーに荷物を持って移動。去年はここから下船までが長かったのですが今年は乗船客があまり多くないので、それほど待たされずに済みそうです。

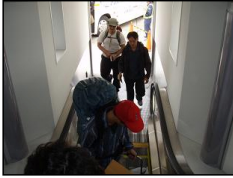


そして下船。182日振りの日本上陸です。
パンスタードリームは去年の船（パンスターシー）と船内構造が違い、甲板の高さまで船内エスカレーターで降りることが出来たので、今年は重い荷物を抱えてタラップを歩いて降りる苦行は免れました。
（でも階位によっては甲板と船の下船口に高低差がある場合があるでしょうから、その場合はやっぱりタラップ利用になるのではないのでしょうか）





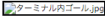
岸壁からターミナルまでは昨年同様バス移動。バス待ちで下船に時間がかかる上、荷物を車内に入れて出すわけですが、船中は基本的にスーツケースなどの荷物を自分の船室に持ち込むのでその荷物のバス移動への積み下ろしは自分で一苦労。それでもターミナルには去年はなかった2階へのエスカレーターが設置されており、荷物を持って階段を上るという状況からは解放されました。



[14年の帰国日のブログ](#)で大阪港ターミナルの階段を批判したのが少しは効いたのでしょうか？

ということで、去年に比べて少しは船からターミナルへの移動が楽にはなりましたが、まだまだグローバルスタンダードに程遠い大阪湾国際ターミナル。一日も早いターミナルと下船口を結ぶ固定通路の増設が望めます。ほんとに、よるしくお願ひしますよ、橋下さん。

そして入国審査・税関検査を経て到着ロビーで感動のゴール！



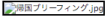
船をバックに歴史的記念撮影。



ちなみに下の画像は半年前の出発時に同じ場所で撮った写真。変化は感じられますか？



記念撮影のあとは乗務スタッフから通常の学校生活に向けてのスケジュール説明があり解散。



撮影が遅れたためこの時点で午後1時近くになっており、結局みんなで昼食を取ろうということになりました。

帰国後の食事、学生の選択は「寿司」

大阪港を見下ろす高層ビルに入っている船屋さんで海鮮丼を囲む4人。



なんちゃって和食でない、本当の日本食を食べ始めて、本当に日本にきてきたと思えたのではないのでしょうか。なお、10月2日夕方から帰国報告会が予定されていますので帰国後も忙しくなると思いますが、ちょうど日本は明日からシルバーウィーク。つかの間の休養を家族や友人と楽しむことでしょう。

カテゴリー：

post by 引率 Staff | 日時: 2009.09.18 | [アクセス](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[海外フィールドワーク引率ブログの紹介](#) > 2009年09月アーカイブ

09.09.17

Day 182, Return to Osaka from Busan, South Korea

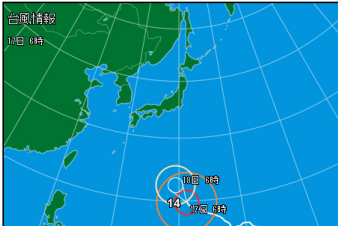
[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ休養です。

さて、183日間に渡る第4期海外フィールドワークも残すところあと2日、ついに今日は日本に向かう船に乗る日です。

台風14号も今のところ今日明日の航海に影響するような位置にはいないので、日程的な心配はなさそう。



海外最後の昼食。これは学生4人で半年前に海外最初に昼食をとったレストランだそうです。



12時半、ホテルの車で港のターミナルに送ってもらい、乗客が乗船手続き。





[パンスターチェックイン.jpg](#)

午後2時半、乗船開始。



午後3時、出航。

今回は乗船はできたものの荷物積み込みに時間がかかったようで、実際に出航したのは1時間40分過ぎの午後4時40分でした。
今年3月20日～21日、大阪⇄釜山と移動した航路を逆にたどる海外フィールドワーク最後の移動です。
ただし船は3月のときのパンスターサニーではなく、パンスタードリームです。

[パンスタードリーム.jpg](#)

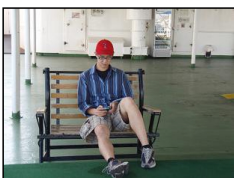
「アジア圏」というだけあって、日常的に共通切符ばかり利用している海外フィールドワークですが、この移動は珍しく1年オープン往復チケットを利用しての復路便です。

[パンスターオープンチケット.jpg](#)

今回はこのほか、ラサール産の区別を中国の個人ビザとベトナム入国証の手配の都合で一往復半しているのと、写真撮るためにクアラルンプール～シンガポールを往復しています。もちろん、フリー期間のプランニングによっては学生間で往復チケットを使う場合がありますが、

(1期2期ではソウル～アラルプールという往復を組んでいましたが、こちらは学生によって復路をフリー期間移動の関係で利用しない場合あり。)

日本へ向けての出航の時をデッキで過ごす学生たち。このネタはこの半年間の出来事だったり、日本に帰ってからのあれこれだったり。





学生たちが持っている写真は半年前にそれぞれが今の自分に宛てて書いた手紙です。
大阪港入港までの約18時間、それぞれの思いはさまざまで、半年間の感慨もひとしおでしょう。

最後の夜、ゆっくりお休みください。



カテゴリー：
post by 引率 Staff | 日時: 2009.09.17 | [D-モバイル](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

最新フィードバック引率ブログの最新記事 > 2009年09月アーカイブ

09.09.16

Day 181, Reunion, Busan, South Korea

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ休番です。
下関を出たフェリー「Seonghee」は対馬海峡を北西に進み、一路釜山へ。



今朝7時、目を覚ますと窓からターミナルが見えます。すでにフェリーは釜山港に接近しているのです。



でも下船が始まったのは到着予定時刻の8時半。どうやら港湾施設がオープンするまで船内で待機ということようです。
前年の3国海外フェードワークで台湾・高雄港に到着した時、入国審査官が乗船やら税関の開始まで船内待機をしたのを思い出していました。

さて、ほぼ半年振りの釜山です。

午前9時過ぎには定宿のホテルフェニックスに到着。だいたい早いですがなんとか一部屋だけ用意してもらいチェックイン。

そして翌朝には学生たちもホテルにやってきました。
(学生たちは4人も前日に釜山入りしており、フェニックスの向かい側のエリアにある同じ宿に泊まっていました)





あいにくまだ学生の部屋が一部準備できていなかったで、その間に私の部屋に集まって先にフリージングをすることにしました。
既前の集合写真を撮ってから伝達事項（宿題の回収その他）や雑談。

[▶全員ミーティング.jpg](#)

そして夜は約束どおり、焼肉へ。
場所は半年前、釜山に着いた日に行ったのと同じ焼肉屋で改題のレストランです。



席の途中のいるいなエピソードやトラブルなど、幸か不幸かこも機かしばに話す彼ら。

[▶食べる焼肉.jpg](#)

[▶食べる志村.jpg](#)

[▶食べる山本.jpg](#)

[▶食べる高橋.jpg](#)

ホテルに戻って、手元にあったフィールドワーク出発前に撮影した証明写真と現在の彼らと比較してみました。
顔も引き締まったり髪にやけたりで精悍さがアップした感じです。



さすが180日間のほとんどを熱いアジアで重い機材を担いで時に下痢や体調不良に見舞われながら奮闘してきただけあります。

帰国して2週間後の10月2日には帰国報告会が実施されますので、彼らは帰ってから忙し日々が始まりますが、明日・明後日はゆっくりお休みしてもらいたいです。

みんな、181日間、お疲れ様。

post by 引率 Staff | 日時: 2009.09.16 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2009 > 2009年09月アーカイブ

09.09.15

Day 180, Way to Busan, via Kitakyusyu & Shimonoseki, from Tokyo

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ発表です。

さて、最終集合地と、釜山まで、東京からの行き方で現実的に考えたのは5つの選択案。

①成田発・釜山行きの飛行機

片道運賃で格安航空券として市販されているのはノースウエスト航空。夕方成田を出て夜釜山着。

お値段約36,000円。（成田空港への交通費なども含む）

集合日当日の移動では学校指定ホテルの集合時刻に間に合わないのでその前日に釜山に着かなばならず、その宿泊費で3,000円程度が別に必要。

②大阪経由で釜山行きのフェリー（今期フィールドワークの出発で使ったパンスターフェリーです）

午前の新幹線で大阪へ。大阪港からはフェリーに乗って船中一泊。翌日午前釜山港着。

神奈川の自宅からの新幹線代などもあわせてお値段約30,000円。ただし現在運賃を値上げしているため、船定額日に釜山到着になってしまい、①と同様宿泊費が3,000円程度別に必要。引率日程も1日多い5日間になるのが難点。

③福岡経由でジェットfoil

午前の飛行機を利用して福岡へ。博多港からジェットfoilでその日のうちに釜山港着。

飛行機とジェットfoilをあわせてお値段は約30,000円。ただし、9月の運賃日程では①と同様集合日当日の移動では学校指定ホテルの集合時刻に間に合わないでその前日に釜山に着かなばならず、その宿泊費で3,000円程度が別に必要。

④福岡経由でフェリー（昨年利用したパターンです）

早朝の飛行機を利用して福岡。博多港からフェリーでその日のうちに釜山港着。

飛行機とフェリーをあわせてお値段は約27,000円。これも①②③と同様集合日当日の移動では学校指定ホテルの集合時刻に間に合わないでその前日に釜山に着かなばならず、その宿泊費で3,000円程度が別に必要。

⑤北九州空港経由で下関発釜山行きのフェリー

午前の飛行機で北九州空港へ行き、下関港に移動してそこからフェリーに乗って船中一泊。

翌日（集合日）午前釜山港着。飛行機とフェリーをあわせてお値段約25,000円。しかも北九州までの飛行機はカーン・高橋りで個別のシートモニター性、しかもシートピッチも他社より広いという特製のスターライザー（実は買ったことがありません！しかも出国スタンプはこれでも押してもらったことのない「下関」になる！

もはや選択肢でもなんでもありません。当然です。金額的には格安から高価まで13,000円ほど差があり、⑤が最安なのも魅力ですが、なんととっても未知のルート・未乗の航空会社や船を利用できるのがマニア（←何の？）には堪えられません！

そして今朝、期待を胸に羽田空港へ。

念願のスタアフライヤー初搭乗です。

外観の美しい塗装はなんとなくシャビを思わせ、カッコいい。



羽田→北九州 長尺クラスの様子。





車内でエレクトロニクス類の各席にはPC用のコンセントもあり、小型テレビもそれぞれついていて
合計10チャンネル以上の映像・音楽ソフトを楽しめます。1時間ほどのフライトでは物足りないくらいです。

北九州空港でなぜかメールに見送られ、バスとJRを乗り継いで下関へ。



下関港国際ターミナルとフェリー「SEONGHEE」。(撮影)



そして夜子決、下関港から出発。
出国スタンプは「SHIMONOSEKI」かと思っていたら「KANMON」でした。



下関-釜山 予約より高級クラス(2等)を利用。昨今のフェリーでは2等でも2段ベッドなどプライベートな空間であることが多いのですが、このフェリーは大部屋スタイル。これはもちろん扉もありません。JRでいう「のびのびシート」に近いです。(カーテンはないけど)



可動もしないけど平らなスペースで13時間半。
お約束の豪華風呂とビールでのんびりと釜山へ向かい、明日の朝には釜山です。

[注] 今回のブログ作成にあたり、4期生高橋さんのブログ via SINGAPORE と3期生奥くんのブログ via 釜山、のフォーマットを一部借用させていただきました。ふたりとも、ありがとうございます。

post by 引車 Staff | 日時: 2009.09.15 | [L2-マリン2](#) | [L3-コジト.00](#) | [L4-トラックバツ.00](#) カテゴリ:

[海外フィールドワーク引車ブログの紹介](#) > [2009年09月アーカイブ](#)

09.09.14

Day 179, Last day of free-fieldwork period, Asia.

[Tweet](#)

[Check](#)

引車スタッフ卒業です。
早いもので今期海外フィールドワークも残すところあと5日。
2回目のスクーリング終了後、学生たちはそれぞれ再撮影のためにアジア各国に渡り、海外フィールドワーク船仕上げとなる20日間をすごしています。

学生4人のこの期間の訪問国での様子はそれぞれのブログで確認いただくとして、それとは別に私の今回のブログに画像が無いときびしいので、彼らの訪問国での写真を勝手に引用させていただきます。m(__)m

中国から山本さん



ネパールから高橋さん



タイから奥村くん





マレーシアから帰国くん

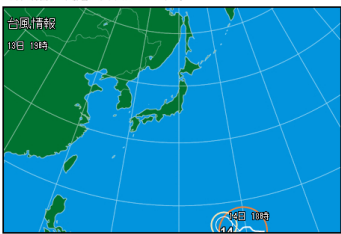


とあちこちの飯でそれぞれ過ごしている学生たちも今日でその滞在期間も終了し、明日9月15日は最終集合会・韓国への指定入国日なので、全員今夜から明日にかけて韓国を目指すこととなります。

最終日：韓国到着後は1日の滞りを経て16日に釜山の学校応答ホテルに集合、17日午後の大坂行きフェリーに乗船。18日午前13時に仁川にある大坂港に到着となります。
183日間の旅を終え大坂に182日ぶりに帰ってくる学生を出迎えたい方はぜひ、大阪南港・国際フェリーターミナルまでお出かけください。（乗寄り駅は大坂市営地下鉄中央線・コスモスクエア駅です）

そして私も明日、学生たちを乗せた韓国・釜山へと出発。
去年は福河まで空路移動し博多港からフェリーで釜山へ向かいましたがその際羽田田舎の航空機が空路システムダウンのため2時間以上遅れたため、あわやフェリーに乗り遅れるのではとドキドキしたので、今年はずっとフェリーで釜山まで行きました。
東京から釜山までの考えうるルートには、日本国内の空路・陸路（鉄道・バス）と日本～韓国間の空路・海路に韓国内の空路・陸路を組み合わせることで多数のパリエーションがありますが、船好きの私はやはり今年も船を一部絡めた行程を組みました。
その詳細はまた明日のブログで。

おっと、日本列島のはるか南に台風14号が・・・
18日の帰国まで、影響がなければいいのですが。



カテゴリー
post by 引率 Staff | 日時: 2009.09.14 | [編集](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(2\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2009 > 2009年09月アーカイブ

09.09.05

マレーシアスクーリング3

[Tweet](#)

[Check](#)

マレーシアスクーリング（後半）での審査風景です。
学生たちは、スクーリング準備に追われ、クラスメイトの作品をじっくり見る機会がなかなか作れなかったようだったので、お互いの作品から様々な影響を受けたことでしょうか。

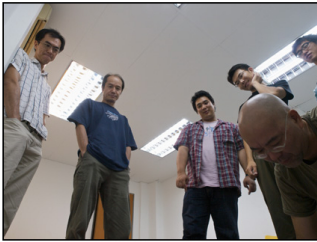
審査員は、フォトフィールドワークゼミを担当されている飯塚先生、鈴木先生。そして、写真表現1（1年次）、FWプランニング（2年次）の授業を担当する長谷の3名の講師がつとめます。



審査員が提出する作品は学生たちが自分自身でセレクトし構成した写真です。学生たちはいつもより少し緊張している様子でしたが、比較的和やかな雰囲気での審査となりました。







最後に総評を行って審査は終了。翌日に印刷面談で4ヶ月期間のプランの確認等を行って、結果に2009年のマレーシアスクーリングが終了しました。



post by 31st Staff | 日時: 2009.09.05 | [ブログリンク](#) | [コメント](#) | [トラックバック](#)

09.09.04

マレーシアスクーリング2

[Tweet](#)

[Check](#)

スクーリングは主に個別授業、ゼミ担当の飯塚先生、鈴木先生、そして、1.2年時に授業を担当している私（長坂）を含めた3人の講師による合同審査、4者面談というスケジュールで行います。

このスクーリングの効果は長期的です。長坂にもなれて放浪体には不安も少ない様子の皆が、次々のゼミによって、「作品制作」という本来の目的を再確認して、最先での誰かの方の反省や、撮影の甘さなどを実感することで、新たな目標に向かっていくための良いきっかけとなります。





カテゴリー：
post by 51st Staff | 日時: 2009.09.04 | [ブログリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

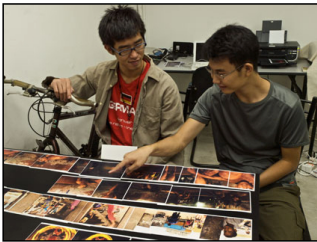
映画ファイルとブックオフプロジェクト2009 > 2009年09月 アーカイブ

マレーシアスクーリング1

[Tweet](#)

[Check](#)

8月19日～22日の4日間の期間で、マレーシアのスクーリング施設（兵学演習ハウス）でスクーリングを行いました。
前半のスクーリング同様、取材期間の撮影は地道な様子でした。
後半期間には、取材期間中に撮影したたくさんのお写真を、(株)ピクトリコ様よりサポート頂いたプロフォトペーパーに出かしながら熟々とスクーリングの準備をしておりました。



(株)ピクトリコ様ありがとうございました！



post by 引率 Staff | 日時: 2009.09.04 | [2-スーリング](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)